

習志野市光輝く高齢者未来計画2021
 (高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画)における
 各施策の達成状況及び第9期計画への反映について

8期計画において個別目標を設定した63項目の達成状況

達成状況	目標を数値化しているもの	目標を数値化していないもの	8期計画の達成状況
◎	達成率 80%以上	達成できた	34
○	達成率 60%以上80%未満	概ね達成できた	9
△	達成率 30%以上60%未満	達成はやや不十分	7
×	達成率 30%未満	全く達成できなかった	13
※令和4(2022)年度末時点			合計 63

8期計画において個別目標を設定した63項目の
 9期計画への反映状況まとめ

	個別目標数
継続	38
拡充	9
縮小	6
新規	7
削除	12
合計	60

第9期計画における個別目標設定数

※合計：継続、拡充、縮小、新規を合算したもの

習志野市光輝く高齢者未来計画2021（高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画）における
各施策の達成状況及び第9期計画への反映について

令和5年10月20日
令和5年度第2回介護保険運営協議会
審議事項（1）—2

◆基本目標1 自分に合った生活場所と介護サービスの充実

指標	8期計画の個別目標			令和4年度の達成状況	9期計画への反映	9期計画反映の理由	9期計画の個別目標		
	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度				令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度
基本施策1-1 介護サービスの提供体制の整備									
特別養護老人ホームの合計定員数	—	—	—	—	新規	各施設は満床に近い状態であること、また入所待機者が発生していることから整備が必要のため。	820人（新規整備分：100人）		
認知症高齢者グループホームの合計定員数	188人（新規整備分：36人）			◎	継続	各施設は満床に近い状態であり引き続き整備が必要のため。	224人（新規整備分：36人）		
小規模多機能型居宅介護または看護小規模多機能型居宅介護の合計定員数	116人（新規整備分：29人）			◎	削除	令和5年度中に1事業所が開設予定のため、利用状況の把握等に努める。			
基本施策1-2 高齢者の住まいの確保									
高齢者向け住まいの供給量	高齢者人口（65歳以上）の3%以上			△	継続	高齢者向け住まいの確保は継続して必要なため、千葉県第4次千葉県住生活基本計画（計画期間令和3年度～令和12年度）における高齢者向け住まいの確保量の目標と同程度を目指す。千葉県の目標は、令和12年度までに高齢者人口に対して3.5%確保するとしており、本市においては、令和12年度までに高齢者人口の3.5%となるよう段階的な増加を目指す。	高齢者人口（65歳以上）に対して 3.1% 3.1% 3.2%		
基本施策1-3 介護サービスの質の確保									
実地指導実施事業所数	16事業所	16事業所	17事業所	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	16事業所	16事業所	17事業所
集団指導実施回数	1回	1回	1回	×	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	1回	1回	1回
介護サービス相談員の派遣人数	14人	14人	14人	×	継続	新型コロナウイルス感染症の影響を受け実施できなかったが、継続的に取り組む必要があることから同数を目標として設定する。	14人	14人	14人
介護サービス相談員受入れ事業所数	80事業所	83事業所	85事業所	×	継続	新型コロナウイルス感染症の影響を受け実施できなかったが、継続的に取り組む必要があることから同数を目標として設定する。	80事業所	83事業所	85事業所
介護サービス相談員の訪問回数（延べ）	672回	672回	672回	×	継続	新型コロナウイルス感染症の影響を受け実施できなかったが、継続的に取り組む必要があることから同数を目標として設定する。	672回	672回	672回
基本施策1-4 介護給付の適正化									
重度変更率（千葉県とのかい離）	—	—	0.5ポイント以内	×	削除	介護認定の適正化を図る指標について変更して実施する。			
認定審査会委員現任者研修受講者数	—	—	—	—	新規	介護認定の適正化を図るため新たに目標を設定する。	25人	27人	30人
認定調査員現任者研修受講者数	—	—	—	—	新規	介護認定の適正化を図るため新たに目標を設定する。	20人	25人	30人
居宅介護事業所の実地指導実施事業所数	10事業所	10事業所	10事業所	×	縮小	継続的に取り組む必要があるため目標数を見直しして実施する。	7事業所	7事業所	7事業所
ケアプラン点検件数	200件	200件	200件	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	200件	200件	200件
集団指導実施回数	1回	1回	1回	×	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	1回	1回	1回
縦覧点検実施率	70.0%	80.0%	90.0%	◎	拡充	目標を達成できているため目標を引き上げて実施する。	100%	100%	100%
医療費突合実施率	70.0%	80.0%	90.0%	◎	拡充	目標を達成できているため目標を引き上げて実施する。	100%	100%	100%

習志野市光輝く高齢者未来計画2021（高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画）における
各施策の達成状況及び第9期計画への反映について

令和5年10月20日
令和5年度第2回介護保険運営協議会
審議事項（1）—2

◆基本目標2 安定した日常生活のサポート

指標	8期計画の個別目標			令和4年度の達成状況	9期計画への反映	9期計画反映の理由	9期計画の個別目標		
	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度				令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度
基本施策2-1 高齢者相談センター（地域包括支援センター）の運営									
地域ケア会議（圏域・個別）の開催数	20回	20回	20回	◎	削除	基本施策4-1においても同指標を目標として設定しており、重複していることから削除とする。高齢者相談センターの事業評価については、国及び本市において毎年実施していること、また、3年に一度、第三者評価を実施し、評価結果は介護保険運営協議会へ報告していることから、9期計画における評価指標の設定は行わないものとする。	/		
基本施策2-2 介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）									
多様な主体によるサービスの担い手を養成する研修受講修了者と事業所とのマッチング	2回	2回	2回	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	2回	2回	2回
基本施策2-3 医療と介護の連携体制の構築									
高齢者等実態調査で、高齢者相談センターが果たしている役割を「多職種連携マネジメント」と回答した事業者の割合	—	25.0%	—	○	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	—	25.0%	—
基本施策2-4 認知症施策の推進									
認知症サポーター養成講座受講者数	500人	500人	500人	◎	削除	基本施策4-1に同じ事業があるため。	/		
認知症サポーター養成講座実施教育機関数	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	◎	削除	基本施策4-1に同じ事業があるため。	/		
認知症サポート登録事業所数	80事業所	90事業所	100事業所	◎	削除	基本施策4-1へ移動して継続して実施する。	/		
認知症初期集中支援チームの支援対応を終了した人のうち、医療・介護サービスにつながった件数の割合	65.0%以上	65.0%以上	65.0%以上	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	65.0%以上	65.0%以上	65.0%以上
基本施策2-5 高齢者の見守り									
習志野市SOSネットワークにより 発見できない行方不明高齢者の数	0人	0人	0人	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	0人	0人	0人
基本施策2-6 高齢者の権利擁護									
虐待防止に関する制度等や認知症等の啓発活動	—	—	—	—	新規	指標を設定していなかった事業について、新たに指標を設定して実施する。	20回	20回	20回
消費者被害相談事例などの関係機関への情報提供の頻度	3か月毎	3か月毎	3か月毎	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	3か月毎	3か月毎	3か月毎
成年後見制度のまちづくり出前講座の実施回数	5回	6回	7回	△	縮小	継続的に取り組む必要があるため目標数を見直しして実施する。	5回	5回	5回
成年後見センターによる法人後見の新規受任件数	—	—	5件	○	継続	継続的に取り組む必要があるため目標数を見直しして実施する。	3件	4件	5件
基本施策2-7 高齢者が利用できる福祉サービス									
高齢者及び障がい者戸口収集支援事業	—	—	—	—	拡充	指標を設定していなかった事業について、新たに目標を設定して取り組む。	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)

習志野市光輝く高齢者未来計画 2021（高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画）における
各施策の達成状況及び第9期計画への反映について

令和5年10月20日
令和5年度第2回介護保険運営協議会
審議事項（1）—2

◆基本目標3 いつまでも元気に暮らせる健康づくり

指標	8期計画の個別目標			令和4年度の達成状況	9期計画への反映	9期計画反映の理由	9期計画の個別目標		
	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度				令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度
基本施策3-1 成人期から取り組む健康づくり									
小・中学校での健康教育の実施数	18校	20校	23校	○	継続	継続的に取り組む必要があるため目標数を見直しして実施する。	17校	19校	21校
健康づくり推進員の人数	25人	—	30人	△	削除	健康づくり推進員の活動について指標を変更して実施するため。	—		
健康づくり推進員への活動支援回数	—	—	—	—	新規	健康づくり推進員について、活動への支援回数を目標として設定する。	40回	40回	40回
特定健康診査受診率	38.0%	39.0%	40.0%	○	継続	継続的に取り組む必要があるため目標数を見直しして実施する。	35.0%	36.0%	37.0%
高齢者等実態調査で、定期的に歯科受診（健診含む）をしていると回答した人の割合（一般高齢者）	—	65.0%	—	◎	削除	高齢者の歯科受診の状況について指標を変更して実施するため。	—		
高齢者等実態調査で、定期的に歯科受診（健診含む）をしていると回答した人の割合（在宅要支援認定者など）	—	50.0%	—	◎	削除	高齢者の歯科受診の状況について指標を変更して実施するため。	—		
成人高齢者歯科健康診査受診率（65歳・70歳・80歳）	—	—	—	—	新規	高齢期における定期的な口腔管理へつなげる機会となる歯科健診の受診率を新たに目標として設定する。	7.1%	7.1%	7.1%
高齢者等実態調査で、1年以内にがん検診を受けていると回答した人の割合（一般若年者）	—	50.0%	—	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	—	50.0%	—
高齢者等実態調査で、1年以内にがん検診を受けていると回答した人の割合（一般高齢者）	—	50.0%	—	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	—	50.0%	—
後期高齢者健康診査受診率	39.8%	40.8%	41.8%	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため、目標数値確定次第、計画に反映する。	確定次第	確定次第	確定次第
基本施策3-2 介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）									
リハビリテーション職による介護予防講座の開催数	20回	20回	20回	△	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	20回	20回	20回
地域運動習慣自主化事業（まちでフィットネス）立ち上げ支援団体数	4団体	4団体	4団体	×	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	4団体	4団体	4団体
介護予防教室参加者の合計数	150人	150人	150人	◎	拡充	目標を達成できているため目標を引き上げて実施する。	340人	340人	340人
介護予防教室参加者のうち、地域の高齢者の「通いの場」につながった人の数	20人	20人	20人	◎	削除	介護予防教室の参加者が「通いの場」へつながったことを図る指標について変更して実施するため。	—		
介護予防教室参加者のうち、運動習慣化の意識を持っている人の割合	80.0%	80.0%	80.0%	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同割合を設定する。	80.0%	80.0%	80.0%
介護予防教室参加者のうち、生活機能が維持・向上している人の割合	80.0%	80.0%	80.0%	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同割合を設定する。	80.0%	80.0%	80.0%
介護予防教室参加者のうち、終了後に地域の高齢者の「通いの場」等へ参加している割合	—	—	—	—	新規	介護予防教室の参加者が「通いの場」へつながったことを図る指標を新たに設定する。	70.0%	70.0%	70.0%

習志野市光輝く高齢者未来計画2021（高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画）における
各施策の達成状況及び第9期計画への反映について

令和5年10月20日
令和5年度第2回介護保険運営協議会
審議事項（1）—2

◆基本目標4 地域で支え合う仕組みの拡大

指標	8期計画の個別目標			令和4年度の達成状況	9期計画への反映	9期計画反映の理由	9期計画の個別目標		
	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度				令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度
基本施策4-1 高齢者を地域で支える仕組みの拡大									
地域テラスを提供する団体数	10団体	11団体	12団体	◎	拡充	目標を達成できているため、目標を引き上げて実施する。	13団体	13団体	14団体
住民主体による通所型サービスを提供する団体数	1団体	3団体	5団体	×	縮小	継続して取り組む必要があるため目標数を見直しして実施する。	—	—	1団体
住民主体による訪問型サービスを提供する団体数	1団体	2団体	3団体	×	縮小	継続して取り組む必要があるため目標数を見直しして実施する。	1団体	1団体	1団体
地域ケア推進会議の開催数	2回	2回	2回	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	2回	2回	2回
地域ケア会議（圏域・個別）の開催数	20回	20回	20回	◎	拡充	目標を達成できているため、目標を引き上げて実施する。	25回	25回	25回
地域ケア個別会議のうち、「介護予防自立支援検討会議」の開催数	5回	5回	5回	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	5回	5回	5回
地域ケア個別会議のうち、「介護予防自立支援検討会議」における各圏域のケアマネジャーの参加率	60.0%	60.0%	60.0%	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同割合を目標として設定する。	60.0%	60.0%	60.0%
市認定ヘルパー養成講座修了者のうち、習志野市ボランティア・市民活動センターへ登録または緩和した基準によるサービス事業所へ登録する人の割合	100%	100%	100%	△	継続	継続的に取り組む必要があるため同割合を目標として設定する。	100%	100%	100%
市認定ヘルパー養成講座修了者のうち、ボランティアまたは緩和した基準によるサービス事業所などの多様なサービスの提供に携わる人の割合	30.0%	35.0%	40.0%	○	縮小	継続して取り組む必要があるため目標数を見直しして実施する。	30.0%	30.0%	30.0%
市民後見人養成講座修了者のうち、習志野市成年後見センターへ登録する人の数	—	—	20人	×	削除	市民後見人養成講座の修了者数は目標を達成しており、今後の支援体制の整備のあり方について検討を行うため。	/		
認知症サポーター養成講座受講者数	500人	500人	500人	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	500人	500人	500人
認知症サポーター養成講座実施教育機関数	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)
認知症サポート登録事業所数	80事業所	90事業所	100事業所	—	拡充	基本施策2-4から移動。目標を達成できているため、目標を引き上げて実施する。	100事業所	105事業所	110事業所
高齢者見守り事業者ネットワーク協定締結事業者数	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)
地域介護予防活動の参加者の合計数（延べ）	34,000人	34,500人	35,000人	○	削除	地域の高齢者の「通いの場」の確保を図る指標としては削除する。	/		
高齢者等実態調査で、地域の高齢者の「通いの場」へ参加していると回答した人の割合	—	8.0%	—	○	拡充	国においては高齢者全体の8%の参加を目標としているが、本市については、高齢者全体の実態を把握することが困難であるため、高齢者等実態調査において55%が参加しているとの回答を目指すこととする。	—	55.0%	—
ふれあい・いきいきサロン（地域サロン）設置数	54か所	59か所	64か所	○	拡充	継続的な取り組む必要があるため目標を引き上げて実施する。	69か所	74か所	79か所

習志野市光輝く高齢者未来計画2021（高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画）における
各施策の達成状況及び第9期計画への反映について

令和5年10月20日
令和5年度第2回介護保険運営協議会
審議事項（1）—2

◆基本目標4 地域で支え合う仕組みの拡大

指標	8期計画の個別目標			令和4年度の達成状況	9期計画への反映	9期計画反映の理由	9期計画の個別目標		
	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度				令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度
基本施策4-2 高齢者の社会参加の促進									
シルバー人材センター会員登録数	—	—	1,100人	△	継続	継続的に取り組む必要があるため目標を見直して実施する。	増または 現状維持 (前年度比)	増または 現状維持 (前年度比)	増または 現状維持 (前年度比)
あじさいクラブ活動事業1単位クラブあたりの会員数	2人増 (前年度比)	2人増 (前年度比)	2人増 (前年度比)	×	継続	継続的に取り組む必要があるため目標を見直して実施する。	増または 現状維持 (前年度比)	増または 現状維持 (前年度比)	増または 現状維持 (前年度比)
あじさいクラブ活動事業各種大会参加者数	増または 現状維持 (前年度比)	増または 現状維持 (前年度比)	増または 現状維持 (前年度比)	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	増または 現状維持 (前年度比)	増または 現状維持 (前年度比)	増または 現状維持 (前年度比)
高齢者ふれあい元気事業実施率	1.0%増 (前年度比)	1.0%増 (前年度比)	1.0%増 (前年度比)	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため目標数を見直して実施する。	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)	増加 (前年度比)
寿学級 参加者数（延べ）	約6,000人の 維持	約6,000人の 維持	約6,000人の 維持	○	縮小	継続的に取り組む必要があるため目標数を見直しして実施する。	4,300人	4,300人	4,300人
市民カレッジの60歳以上の受講生数	70人	70人	70人	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	70人	70人	70人
総合型地域スポーツクラブ（3クラブ）の60歳以上の会員数	400人	400人	400人	△	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	400人	400人	400人
スポーツ奨励大会（歩け歩け大会）の60歳以上の参加者数	150人	150人	150人	×	継続	継続的に取り組む必要があるため同数を目標として設定する。	150人	150人	150人